

新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

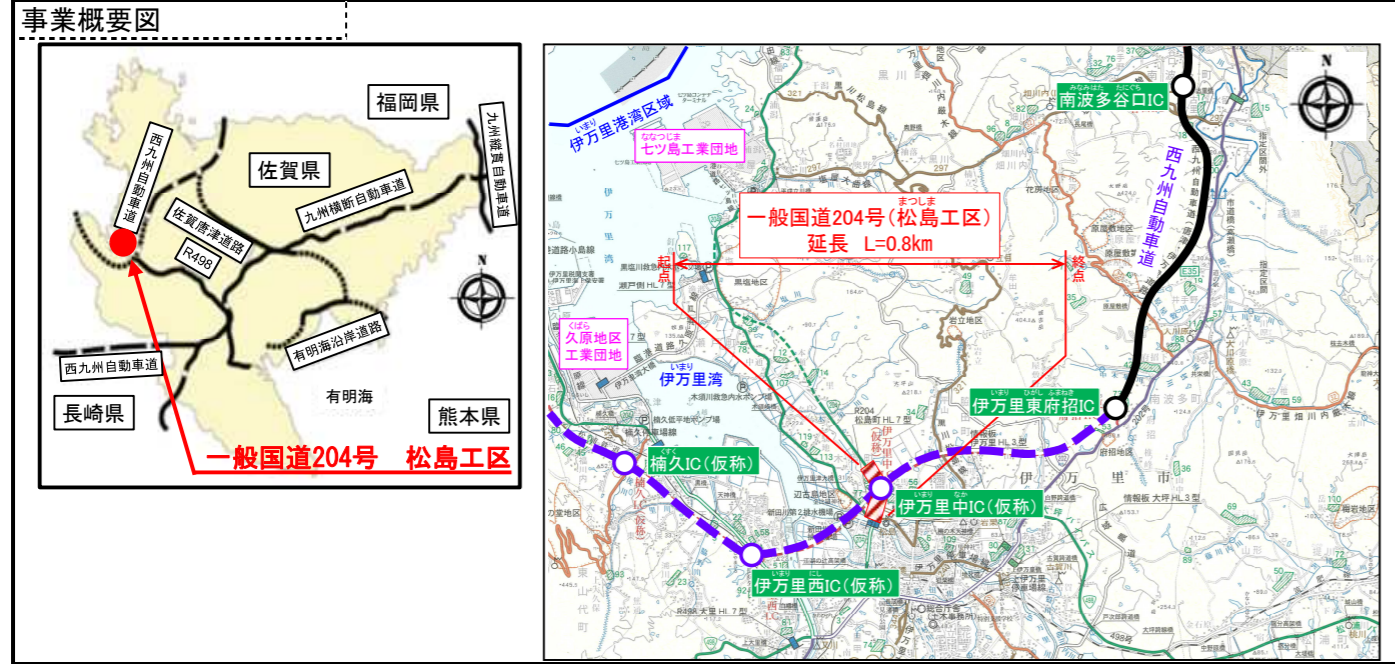
事業の概要

事業名	高規格ICアクセス 一般国道204号 松島工区	事業区分	一般国道	事業主体	佐賀県
起終点	自：佐賀県伊万里市木須町 至：佐賀県伊万里市二里町八谷搦	延長	0.8km		

事業概要
一般国道 204 号は、佐賀県唐津市から伊万里市を經由して長崎県佐世保市に至る幹線道路であり、松島工区は、高規格幹線道路 西九州自動車道の伊万里中 IC（仮称）を含んだ伊万里市木須町から同市二里町八谷搦交差点までの 0.8km を現道拡幅するものである。

事業の目的、必要性
当該事業区間は、伊万里中 IC（仮称）への 1 次アクセス道路として一体的に整備することで、伊万里港の東西に立地する工業団地（七ツ島工業団地、久原地区工業団地）などへの物流効率化や伊万里市街地への観光の支援を図るものである。

全体事業費	6.0億円	計画交通量	10,800～20,500台/日
-------	-------	-------	------------------



関係する地方公共団体等の意見
・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・佐賀県公共事業評価監視委員会において、新規事業化は妥当であると了承。

事業採択の前提条件
・費用対便益：便益が費用を上回っている。
・都市計画決定が完了（R26.9.30）しており、円滑な事業執行の環境が整っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	3.1	総費用：6.3億円 （事業費：5.5億円 維持管理費：0.86億円）	総便益：20億円 （走行時間短縮便益：15億円 走行経費減少便益：0.74億円 交通事故減少便益：4.0億円）	基準年 令和4年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=2.8（交通量 -10%）	B/C=3.5（交通量 +10%）	
		事業費変動	B/C=3.3（事業費 +10%）	B/C=4.0（事業費 -10%）	
	事業期間変動	B/C=3.0（事業期間 +20%）	B/C=3.0（事業期間 -20%）		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	○	・4車線化により円滑な交通が確保できる。	
		事故対策	—	・注目すべき影響はない。	
	社会全体への影響	歩行空間	—	・注目すべき影響はない。	
		住民生活	—	・注目すべき影響はない。	
		地域経済	◎	・西九州自動車道（伊万里中IC（仮称））との連携による更なる物流の効率化が期待される。	
		災害	○	・西九州自動車道（伊万里中IC（仮称））との連携により、緊急輸送ネットワーク機能が強化される。	
環境	—	・注目すべき影響はない。			
地域社会	◎	・西九州自動車道（伊万里中IC（仮称））との連携による更なる沿線都市間の交流促進が期待される。			
事業実施環境	◎	・都市計画決定完了（H26.9.30）			

採択の理由

事業主体である佐賀県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が 3.1 と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、4 車線化による交通容量の確保や西九州自動車道との連結により、更なる物流の効率化や沿線都市間の交流促進が見込まれることから、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。
以上により、本事業は令和5年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。